大 豆 島

ごみ問題を考える会

ニュース NO，5
2002年11月14日

発行責任
轟清秀- 222-2011
北原 宗子 221-0508
舟越記美代 222-2396
TEL・FAX

請願署名へのご協力ありがとうございました。

３１８５名の皆さんの署名を鷲沢市長に届けました！！

１１月７日「大豆島ゴミ問題を考える会」として４項目の要望書の提出と要望書に賛同してくださった皆さんの署名を鷲沢市長に届けました。

長野市は「**建設の同意は、松岡だけでなく、上区からも得る。**」そして「**住民の意見は署名も考慮に入れる**」と言われましたので、今後も地域の皆さんの意見の反映として、署名を集めたいと思います。**引き続き署名活動へのご協力をお願いいたします。**

市長および長野市環境部の方との懇談の内容です。皆さんはどう思いますか？

ー大豆島を銀座のど真ん中？ー

鷲沢市長は１１月７日の懇談で「焼却場の『迷惑施設』というイメージをなくすため、**大豆島を銀座のど真ん中のようにしたい**と思っている。**それは大部分の住民が望んでいること**なので、そのための投資をする。」と発言。

（**誰が望んでるんですか？の声も出ました。**）

全国の類似施設の調査は、していなかった！

「全国５００箇所ある施設で問題は無い」との説明でしたが、、実際化学物質などの調査は、何もされていなかったことを認め、**今から全国の調査をし、結果を発表する**と発言しました。

＝住民への説明責任については＝

今、松岡・大豆島上・中・下で説明会をしているが、要望があれば他の地区でもする。

＝処理場を一地域に集中させないで＝

大豆島の皆さんには申し訳ないと思っている。
焼却場は大型のほうが安定しているので分散化は難しい。
どの地域に建設するにしても、難しい
大豆島にお願いするしかない。

要望書について

＝ガラス張りの検討委員会で＝

化学物質の調査は、「考える会」の推選する専門家との話しをし、検討委員会を設置する。必要な項目については、国の基準以外のものもする。

＝発生抑制について＝

環境パートナーシップなどでトレー削減など進めている。
ゴミ減量再資源化検討委員会も作っている。
皆さんにも協力して欲しい。

長野市の説明会と鷲沢市長との懇談で感じたこと

私たちは杉並区のような被害がこの大豆島に起きない様、充分考えてほしいと長野市に訴えつづけてきました。この間の説明会や市長との懇談で感じたことは

◎全国の施設について、調査も結果も持たずに、「問題ない」と説明していたことはとても無責任だと思います。
◎以前は基準が甘かったが、今では基準が厳しくなったのでダイオキシンは「0」に近いと言い、「今まで何十年もダイオキシンの空気を吸ってたってことですか？」という質問に「はい、そうです」という答えが返り、唖然としました。今度の施設でも後でそういわれるのでは…と不安になりました。
◎「杉並病は原因物質が特定されていないので、どういう調査をして安全性を確認するのですか」という質問に、環境部長は「じゃあどうしたらいいのかアナタが考えてごらん」と言う発言。「では、私達の推薦する専門家と話しをして下さい」というと、その提案については受け入れられました。
◎そして、化学物質についての調査は、「考える会の推薦する専門家の話も聞く」「専門家を交えた検討委員会を設置する」「安全性が確認できるまでは建設しない」と前向きな対応になりました。
◎施設について、「長野市全体の問題として、建設の是非、設置場所の問題なども検討してほしい」との訴えは受け入れず、「処理場というイメージをなくす為、大豆島を銀座のど真ん中のようにしたい」との発言。私達はイメージの問題ではなく、大気汚染を心配しているのです。

皆さんの意見をお聞かせください

“数は力です！” ～未来のこどもたちのために～

環境をよくしたいと思っている 大勢の皆さんの参加を待ってまーす！！

裏面もお読みください